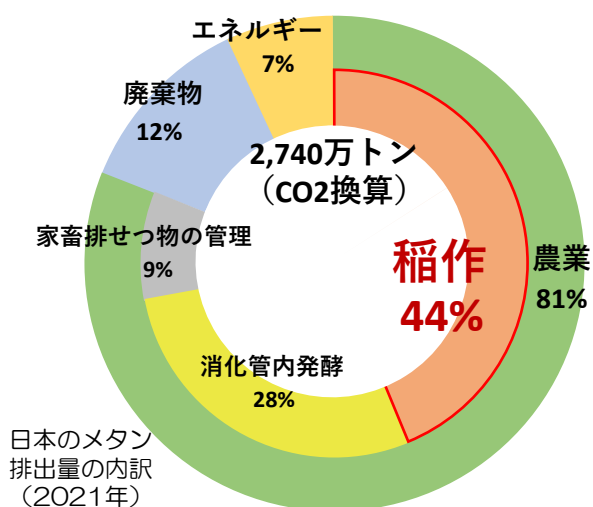


未来の子供たちへ「食」をつなぐ

水田で取り組む温室効果ガス削減

知っていますか？水田から出る温室効果ガス。

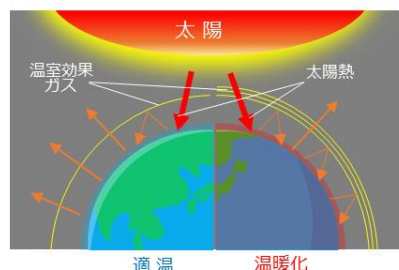


温室効果ガス(※1)のうち、日本のメタン(※2)排出量に農業が占める割合は約81%。

その5割以上が稲作から排出。

※1 温室効果ガスの増加により太陽からの熱がこもり気温が上昇⇒農作物の高温障害等が発生しやすくなる！！

※2 二酸化炭素 (CO₂) に比べ、メタンは、25倍の温室効果がある。



こんなことから取り組めます！

多くの方が取り組むと、大きな効果を発揮できます。未来の子供たちへ「食」をつなぐために、できることから取り組んでみませんか！

中干し期間を1週間程度延長することで、温室効果ガス(メタン)約3割削減！



中干し延長の取り組み方や留意点はこちら！

水田メタン発生抑制のための新たな水管理技術マニュアル [リンク](#)



秋に稲わらのすき込みを行うことで、温室効果ガス(メタン)少なくとも1割削減！



稲わらのすき込みや秋耕のその他効果や留意点はこちら！

環境負荷低減に資する栽培技術集(農林水産省) [リンク](#) (該当技術は③、⑤)



● 環境負荷低減に資する栽培技術集【水稻】

各都道府県の生産現場において既に実践されている化学農薬・化学肥料の使用量の低減に資する技術を聞き取り、代表的な技術とその技術のポイントをとりまとめました。



● グリーンな栽培体系(取組事例等)

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、それぞれの産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「グリーンな栽培体系」を推進しています。



● 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

みどりの食料システム戦略に掲げた目標の達成に貢献し、現場への普及が期待される技術について、「みどりの食料システム戦略技術カタログ」としてとりまとめました。

近年(直近10年程度)開発された技術(現在普及可能な技術)と、近い将来、利用可能となる開発中の技術(2030年までに利用可能な技術)について紹介しています。



(参考) みどりの食料システム戦略

農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

その実現に向け「みどりの食料システム法」を制定し、環境負荷低減の取組計画について県の認定を受けた農業者等を、融資、税制、国の補助事業の優先採択等で支援しています。



環境保全に取り組む皆様に応援します！

<主な支援措置>

	支援措置	支援対象となる取組	支援内容
補助事業	環境保全型農業直接支払交付金	化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う対象取組(秋耕、長期中干し(溝切りと14日以上の中干し)等)。	取組内容に応じて交付 〔例:秋耕:800円/10a 長期中干し:800円/10a〕
	〔みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート〕	産地に適した中干し期間の延長や秋耕等の環境にやさしい技術と省力化技術の検証等(ほ場・機械借上げ費、資材費、土壌診断等)。	交付率: 定額(上限300万円又は360万円)、機械導入は別途1/2以内
金融	農業改良資金	みどりの食料システム法に基づく計画認定を受けた農業者が、計画の実施に必要な設備投資を行う場合。	償還期間:12年 利率:無利子
税制	みどり投資促進税制(法人税・所得税の特例)	みどりの食料システム法に基づく計画認定を受けた農業者が、化学肥料又は化学農薬の使用低減に資する機械設備等を取得した場合。	特別償却 〔機械等:取得価額×32% 建物等:取得価額×16%〕

<関連する制度>

	方法論	取組の内容	見込まれる収益
J-クレジット	水稻栽培における中干し期間の延長	所定のプロジェクト登録を行った上で、中干し期間を直近2か年の実施日数より7日間以上延長すれば、水稻作付け面積と水田の所在地域・排水性・施用有機物に応じた削減量分のクレジットが認証。クレジットを他者へ販売することで収益を得られる。直近2か年の中干しの実施日数等の生産管理記録が必要。	仮にクレジットを1万円/tCO2で販売した場合、東北地域では3,600円/10a程度の収益を想定(取組可能期間は最大8年間)

お問合せ

【水稻生産、金融、税制について】

東北農政局 生産部 生産振興課

☎ 022-221-6169(直通)

【環境保全、支援措置等について】

東北農政局 生産部 生産技術環境課

☎ 022-221-6214(直通)